

「げんきのひみつ」

有漢学園

一年

山根 やまね

海礼 みらい

わたしには、もうすぐ九十九さいになる大きいばあばがいます。大きいばあばのすきなところは、まいにちきれいにおけしようにしているところと、とくべつなむかしのはなしをしてくれるところです。

とくべつなむかしのはなしをすしだけおしえます。大きいばあばが、わかいときにせんそうがありました。ばくだんがおちてきて、とおくへとばされました。おともだちも、たくさんいなくなりました。かなしいことが、たくさんありました。それでも、いままでげんきに生きています。わたしは、大きいばあばがげんきでいきていることが、すごいとおもいます。

げんきのひみつは、たくさんたべることです。大きいばあばは、なんでもたべます。けどすこしさかながにがてです。わたしが、
「これたべる。」

ときくといつも、

「なんでもいただくよ。」

といってくださいます。いっしょにおかしをたべます。たくさんジュースものみます。おかしをたべながら、いろんなおはなしをして、いつもたくさんほめてくれるのでうれしいです。それから、うんどうもまいにちしています。はれのひには、おしぐるまをつかって、そとにでたくさんあるいています。あめがふっていても、おうちのなかでうんどうをしています。

わたしは、大きいばあばが大すきです。大きいばあばには、もっともつとながいきてほしいです。千さいまでいきしてほしいくらいです。わたしも、大きいばあばみたいになんでもたべて、たくさんうんどうして、げんきにながいきたいです。